



20251123 猪高の森自然観察会 2025 年 11 月報告書

猪高の森自然観察だより 2025・11 月号

開催日時：2025 年 11 月 23 日（日）

テーマ：落ち葉から木の名前を調べてみよう！

天候：晴れ

気温：最低 6.0℃、最高 17.8℃

（名古屋に 於いて）

参加者：12 名（内 NACS-J 会員 4 名）

コース予定：森の集会所 → 枕木道 → すり鉢池（一端解散）→ 復路 → 森の集会所

この地域では2度咲のキンモクセイが多く見られました。

雨の程度や気温の急激な変化など、今を生きている動植物たちにとっても初めての体験です。

（左上の画像は コマユミの実。生涯学習センターの向かい側の法面にて）

○いろいろな落ち葉を分けていくと・・・



カクレミノ・・・3種類の葉があり、表面ツルツルで皮質のちょっと厚い葉。別名：じゃんけんの葉。（落ち葉のみ）



ヒメコウゾ・・・毛が生えて、表面ザラザラ。縁をぐるっとめぐる葉脈あり。



ムクノキ・・・特徴がはっきりしない葉、葉の表面は細かいやすりのよう。



ケヤキ・・・葉の縁のギザギザ（鋸歯と言う）が独特の形。

葉を拾うときには、周りにも注意して、どんな幹の木が生えていたのか覚えておくと、種類・名前を決めるときのヒントになります。



トウカエデ・・・独特の形



ナツヅタ・・・これも形で覚えましょう



クリ・・・葉の裏側も茶色。鋸歯の先端まで緑色だった跡あり。



サクラ・・・葉柄の付近に蜜腺の跡がある。



アベマキ・・・葉の裏側は真っ白。鋸歯の先も真っ白。



ソヨゴ・・・葉の縁のナミナミの曲がり
が特徴。黒いのは急な低温に会うと
なるとか。（ソヨゴは常緑樹です。）



タカノツメ・・・3枚で一枚の葉。見事な黄色に黄葉します。



コナラ・・・中央の3枚は同じ枝から出た隣同士の葉。大きさも形さえも違っているように見えます。でも全部コナラの葉です。



エノキ・・・左右非対称で葉柄に近い部分から葉縁の1/3～1/4くらいは鋸歯がありません。



ヤマナラシ・・・落ちると真っ黒になるとか。こう見えても、ヤナギの仲間です。※



アカメガシワ・・・葉柄に近い部分に1対の蜜腺を見つけました。黄葉します。

※緑色の枝に付いている葉を取りそのまま乾燥させても緑色のままでした。自然に落葉した葉の中で、何かしらの反応が起こっていると思われます。

○緑地で出会った生き物たち



スギの雄花のつぼみ（来春、花粉を出します。）



アズキナシの実



シャクチリソバの実



ノイバラの仲間の実



クスノキの実



ツワブキの花



スゲワタムシのフワフワ



ベッコウハゴロモ



センダンの葉柄の枝に付いていた部分（何かの顔のよう）



参加者の方々と集めた落ち葉をレジヤシートに広げてみました。

様々な形と色で、見ているだけでも中々に楽しくなります。



棚田で死んでいた状態の良いマムシを冷凍しました。天白区の生物多様性センターに持っていく前に皆で観察し、マムシの代表的な「銭形模様」を確認しました。

次回観察会は1月25日（日）森の集会所集合 9：30～です。

12月の観察会はお休みです。

（雷ナウキャストにて雷発生の危険のある場合は中止）

名東自然倶楽部のHPでは毎月の猪高の森の自然観察会の紹介をしています。

<https://sizen.ciao.jp/index.html>

からご覧になってください。

（右上の自然観察グループをクリックしてください）